

くすのき

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

西合志第一小学校
学校だより 第57号
文責 校長 西村羊治

令和6年12月18日

ほっぺた落ちました！（ありがとうございます。）

合生コミュニティ主催で、熊本県漁連様から熊本産の魚をご提供いただき、12月17日（火）、合生コミュニティの野中さん、長野区長さん、村上区長さん、講師の川端先生（熊本県ふるさと食の名人）に来校いただき、6年生対象のお魚教室を開催しました。6年生9人は1人2匹ずつ「あじ」を3枚に下ろし、ムニエルを作りました。また、給食と同時に全児童・職員に「さわら」のムニエルを提供していただきました。私も食べましたが、見た目も味もとても良く、ほっぺたが落ちました。魚を3枚に下ろす作業、私はしたことはありません。見ていて「してみたいなあ〜」とは思いましたが、今回は調理を見る、



あじのうろこをとります



「ぜいご」をとります

食べるだけで大満足でした。そして、なにより全児童・全職員に「さわら」のムニエルを振る舞っていただき、児童も職員も「おいしい！おいしい！」と言っていたのが印象的でした。魚を3枚に下ろす経験は、今ではなかなかできないと思います。6年生はとても貴重な体験ができました。この様な経験を通して、「命」や「食」の大切さや「感謝の気持ち」をしっかりと学んでいってくれることと感じました。



おいしいムニエル

火災避難訓練

104人の死者を出した太洋デパート火災（1973年11月29日）、33人の死者を出したホテルニュージャパンの火災（1982年2月8日）、36人の死者を出した京都アニメーションの放火火災（2019年7月18日）、それぞれものすごい被害で、私の記憶にしっかり残っている悲惨な火災です。私の義父は、当時自衛隊で熊本の太洋デパート火災時に出動し、人命救助等の任務に当たったこと、その現場の状況が酷く悲惨な状態だったことを、私に話してくれたことがあります。最近も火災で人が亡くなるニュースが報道されています。57年生きてきましたが、火災がなかった年はないと思います。

この様に考えると、学校での火災避難訓練はとても大切で、毎年真剣に実施することが大切です。私が思い出に残っている映画に「バックドラフト」という消防士を主人公にしたものがあります。「バックドラフト」とは、火災が起きている部屋のドアを開けた瞬間、大きな炎が爆発的に襲ってくる現象です。消火活動に突入した消防士が、命を失うこともあります。人の命は亡くなると戻ってきません。毎年の学校での避難訓練を全員が真剣に実施し、命を守る大切さを常に思って欲しいです。



消防車の見学

各ご家庭におかれましてもくれぐれも火災が発生しないよう、日頃から火災を起こさない取組やお話をお願いいたします。

放水 6年生の2人

